

感染症発生状況

令和7年7月10日

各保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和7年6月30日（月）～7月4日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は 2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 336名 【職員】 9名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 67名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（172名）、咳・鼻水（63名）、下痢・腹痛（33名）、嘔気・嘔吐（10名）、
発疹（10名）

疾病別：伝染性紅斑（リンゴ病）（11名）、咽頭結膜熱（プール熱）（11名）、手足口病（9名）、
胃腸炎（4名）

【職員】症状別：熱（2名）、咳・鼻水（2名）、充血（目やに）（2名）

疾病別：流行性角結膜炎（2名）、胃腸炎（1名）

猛暑が続いています。

夏風邪の咽頭結膜熱（プール熱）が流行しています。

共同の石鹸、タオル、プール、入浴で感染拡大します。ご注意ください。

【疾病別の発生状況】

伝染性紅斑（リンゴ病）	河北地区で増加しました。盛南地区で減少しました。
咽頭結膜熱（プール熱）	玉山地区、盛南地区で増加しました。厨川地区で減少しました。
手足口病	河北地区で減少しました。
胃腸炎	河北地区、盛南地区、河南地区、都南地区で増加しました。

【県の状況（6/23～6/29）】

梅毒の報告が2例ありました。

百日咳は97例報告されました。10代及び5～9歳の報告が多く、乳児の報告もあります。1歳未満の場合は重症化や死亡のリスクがあるため、接種対象年齢に達した小児に対しワクチンを接種することが望まれます。また、集団や家庭内に感染を拡大させないよう、手洗いや咳エチケット等の基本的な感染予防対策も行いましょう。

伝染性紅斑（リンゴ病）の定点当たり患者数は1.56人となりました。伝染性紅斑は小児を中心にみられる感染症ですが、妊婦が感染すると胎児の異常や流産の危険性が生じる場合があります。微熱や咳等かぜ様症状がみられた後、両頬に境界明瞭な紅斑、四肢伸側にはレース状の紅斑が現れます。飛沫感染や接触感染しますが、紅斑出現時には感染力はほとんどありません。流行時期にはこまめな手洗いや咳エチケット等の基本的な感染予防対策が重要です。

感染性胃腸炎は増加し、定点当たり患者数は7.41人となりました。集団発生事例は盛岡市内の教育・保育施設で2件ありました。体調管理に気を付け、調理や食事の前、トイレの後は石けんで手洗いをしましょう。患者の吐物や便は、使い捨て手袋とマスクを着用し、塩素系消毒剤で処理してください。換気も忘れずに行いましょう。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】